

## 2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月14日

上場会社名 ビジネス・ワンホールディングス株式会社  
コード番号 4827 URL <https://www.businessone-hd.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 朝樹  
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務管理本部長 (氏名) 松元 誠二郎  
配当支払開始予定日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福  
TEL 092-534-7210

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	11,726	21.3	1,005	16.5	850	20.7	535	23.6
2024年3月期第3四半期	9,670	5.7	1,203	2.0	1,071	2.3	701	5.3

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 580百万円 (17.8%) 2024年3月期第3四半期 706百万円 (4.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	129.12	
2024年3月期第3四半期	169.11	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	30,735	5,850	18.0	1,331.93
2024年3月期	28,546	5,025	17.6	1,211.39

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 5,526百万円 2024年3月期 5,025百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		10.00	10.00
2025年3月期		0.00			
2025年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	4.4	1,400	5.2	1,200	3.6	800	7.7	192.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1 社 (社名) 株式会社ナカケン、除外 社 (社名)

(注)特定子会社の異動に該当しない子会社の異動につきましては、添付資料P.7「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	4,148,900 株	2024年3月期	4,148,900 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2025年3月期3Q	株	2024年3月期	株
------------	---	----------	---

期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	4,148,900 株	2024年3月期3Q	4,148,900 株
------------	-------------	------------	-------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	1
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	1
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、労働需要の逼迫を背景とした雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大などを受けて緩やかに回復しております。一方で、不安定な国際情勢等による資源価格の高騰などによる物価上昇は継続しており、不動産業界におきましても、建築コストの高止まり等による販売価格への影響、日銀の追加利上げといった金融政策の動向等もあり、景気下振れリスクが高まり、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、収益構造の強化・収益基盤の拡大を目的として、各事業部門の持続的な収益確保を意識した業績管理をより一層徹底し、グループ全体の業容拡大を目指してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、当第3四半期連結会計期間より新たに報告セグメントとして追加した建設事業の計上等もあり、売上高11,726,968千円（前年同期比21.3%増）、営業利益1,005,772千円（同16.5%減）、経常利益850,243千円（同20.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益535,697千円（同23.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①不動産事業

前期における大口の販売用不動産の売却の反動減に加え、小口物件中心に低採算の長期在庫処分に注力した結果、減益となりました。今後とも在庫回転期間の短縮と良質な在庫資産の取得に努めてまいります。

当第3四半期連結累計期間における不動産事業の売上高は7,227,764千円（前年同期比9.8%増）、セグメント利益は519,539千円（同38.3%減）となりました。

#### ②マンション管理事業

分譲マンションを中心としたマンション管理事業を行っております。今後も、管理棟数・管理戸数の増加による企業基盤の強化を図るとともに、高品質なサービスの提供に努めてまいります。

当第3四半期連結累計期間におけるマンション管理事業の売上高は1,526,749千円（前年同期比6.9%増）、セグメント損失は5,636千円（前年同期はセグメント損失15,250千円）となりました。

#### ③賃貸事業

当社グループが保有する賃貸等不動産による賃料収入事業と、マンション管理物件の賃貸仲介事業など、グループの営業資産・情報力を基にシナジー効果を最大限に発揮させ、収益拡大につなげる事業を行っております。

当第3四半期連結累計期間における賃貸事業の売上高は973,361千円（前年同期比4.2%増）、セグメント利益は354,218千円（同5.9%増）となりました。

#### ④家具・家電レンタル事業

賃貸住宅入居者向けの他、賃貸物件オーナー・法人向けに家具・家電のレンタル事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間における家具・家電レンタル事業の売上高は538,431千円（前年同期比14.0%増）、セグメント利益は18,019千円（前年同期比62.4%増）となりました。

#### ⑤ソフトウェア事業

パッケージソフト販売部門において、商品ラインナップを拡充・強化し、顧客ニーズに合わせた販売活動を推進しております。また顧客サービスを充実させるべくパッケージソフトの操作指導（スクール）やサポートセンターによる既存ユーザーへの電話サポート、バージョンアップ案内などの保守分野における企画・営業活動を展開することで、複数年契約や保守契約などの収益基盤の拡充を図っております。

当第3四半期連結累計期間におけるソフトウェア事業の売上高は167,455千円（前年同期比14.3%増）、セグメント利益43,580千円（同37.2%増）となりました。

#### ⑥ファイナンス事業

事業者向け不動産担保貸付を主として行っております。

当第3四半期連結累計期間におけるファイナンス事業の売上高は259,199千円（前年同期比9.3%増）、一部の貸付債権を対象に引当金繰入を行い、セグメント利益は91,971千円（前年同期比28.7%減）となりました。

⑦建設事業

当第3四半期連結会計期間より、建築設計・施工、マンションギャラリーのデザイン及び施工及び住宅のリフォーム・リノベーション等を行う建設事業を新たに報告セグメントに追加いたしました。

当第3四半期連結累計期間における建設事業の売上高は1,274,333千円、セグメント利益は107,482千円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は18,572,169千円となり、前連結会計年度末に比べ863,774千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が93,561千円増加、販売用不動産が338,077千円増加、営業貸付金が362,230千円増加、売掛金が144,523千円増加、未成工事支出金が104,387千円増加する一方、有価証券が200,000千円減少したことによるものです。固定資産は12,163,466千円となり、前連結会計年度末に比べ1,325,596千円増加いたしました。これは主に建物及び構築物が502,711千円増加、土地が508,998千円増加、投資その他の資産が277,607千円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は30,735,635千円となり、前連結会計年度末に比べ2,189,371千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は16,262,013千円となり、前連結会計年度末に比べ132,722千円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が130,309千円増加、未成工事受入金が54,034千円増加、1年内返済予定長期借入金43,795千円増加した一方、短期借入金が367,629千円減少、未払法人税等が139,904千円減少したことによるものであります。固定負債は8,622,820千円となり、前連結会計年度末に比べ1,497,238千円増加いたしました。これは主に長期借入金が1,449,491千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は24,884,833千円となり、前連結会計年度末に比べ1,364,516千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は5,850,802千円となり、前連結会計年度末に比べ824,854千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益535,697千円、剰余金の配当41,489千円、その他有価証券評価差額金5,906千円の増加、非支配株主持分324,739千円の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は18.0%（前連結会計年度末は17.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月9日発表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,578,359	3,671,921
売掛金	190,687	335,211
有価証券	200,000	—
販売用不動産	9,046,695	9,384,773
未成工事支出金	—	104,387
原材料及び貯蔵品	1,799	1,950
1年内回収予定の長期貸付金	1,159	—
営業貸付金	4,569,750	4,931,980
その他	228,936	241,327
貸倒引当金	△108,994	△99,382
流動資産合計	17,708,394	18,572,169
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,947,551	4,450,263
土地	6,072,845	6,581,844
建設仮勘定	—	39,000
その他	403,182	413,817
有形固定資産合計	10,423,580	11,484,925
無形固定資産		
のれん	38,236	23,725
その他	14,067	15,221
無形固定資産合計	52,304	38,947
投資その他の資産		
投資有価証券	20,913	91,681
繰延税金資産	272,627	289,889
その他	71,443	321,922
貸倒引当金	△3,000	△63,900
投資その他の資産合計	361,984	639,592
固定資産合計	10,837,869	12,163,466
資産合計	28,546,264	30,735,635
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,183	189,492
短期借入金	13,455,307	13,087,678
1年内返済予定の長期借入金	1,542,241	1,586,036
リース債務	6,283	4,802
未払法人税等	227,703	87,799
賞与引当金	155,212	117,000
未成工事受入金	—	54,034
その他	948,802	1,135,169
流動負債合計	16,394,735	16,262,013
固定負債		
長期借入金	6,977,900	8,427,392
リース債務	11,047	9,841
繰延税金負債	—	36,650
その他	136,633	148,936
固定負債合計	7,125,581	8,622,820
負債合計	23,520,316	24,884,833

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	436,034	436,034
利益剰余金	4,582,691	5,076,899
株主資本合計	5,018,725	5,512,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,222	13,129
その他の包括利益累計額合計	7,222	13,129
非支配株主持分	—	324,739
純資産合計	5,025,947	5,850,802
負債純資産合計	28,546,264	30,735,635

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	9,670,800	11,726,968
売上原価	6,958,561	8,976,432
売上総利益	2,712,238	2,750,535
販売費及び一般管理費	1,508,430	1,744,762
営業利益	1,203,808	1,005,772
営業外収益		
受取利息	3,282	3,179
受取配当金	1,150	1,760
受取保険金	25,485	5,276
その他	16,172	12,255
営業外収益合計	46,091	22,471
営業外費用		
支払利息	165,534	169,307
その他	12,517	8,693
営業外費用合計	178,052	178,000
経常利益	1,071,847	850,243
特別利益		
固定資産売却益	810	872
特別利益合計	810	872
特別損失		
固定資産除却損	166	348
関係会社株式売却損	—	3,575
特別損失合計	166	3,923
税金等調整前四半期純利益	1,072,492	847,191
法人税、住民税及び事業税	322,012	295,037
法人税等調整額	48,874	△21,290
法人税等合計	370,886	273,747
四半期純利益	701,605	573,444
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	37,747
親会社株主に帰属する四半期純利益	701,605	535,697



（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
四半期純利益	701,605	573,444
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,247	7,444
その他の包括利益合計	5,247	7,444
四半期包括利益	706,853	580,889
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	706,853	541,604
非支配株主に係る四半期包括利益	—	39,284

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社の異動には該当していませんが、従来連結の範囲であった株式会社アースは、2024年7月31日付での保有株式売却に伴い、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

また、2024年10月29日付で株式会社ナカケンの株式を取得したことにより、第3四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準の適用」等)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	332,454千円	389,031千円
のれんの償却額	29,630千円	29,824千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント						
	不動産事業	マンション 管理事業	賃貸事業	家具・家電 レンタル事業	ソフトウェア 事業	ファイナンス 事業	建設事業
売上高							
一時点で移転される財	6,552,115	364,058	99,670	11,605	87,774	78,215	—
一定の期間にわたり移転 される財	8,598	1,064,086	72,707	—	58,786	3,011	—
顧客との契約から生じる 収益	6,560,713	1,428,144	172,378	11,605	146,560	81,227	—
その他の収益（注4）	20,082	—	761,545	460,837	—	155,990	—
外部顧客への売上高	6,383,704	1,252,823	859,623	470,567	143,015	232,970	—
セグメント間の内部売上高 又は振替高	197,091	175,320	74,299	1,876	3,545	4,248	—
計	6,580,795	1,428,144	933,923	472,443	146,560	237,218	—
セグメント利益 又は損失（△）	841,820	△15,250	334,605	11,094	31,761	129,000	—

（単位：千円）

	報告セグメント	その他（注1）	合計	調整額（注2）	四半期連結損益計算 書計上額（注3）
	計				
売上高					
一時点で移転される財	7,193,440	341,412	7,534,853	△297,953	7,236,899
一定の期間にわたり移転 される財	1,207,190	249	1,207,440	△106,959	1,100,481
顧客との契約から生じる 収益	8,400,631	341,662	8,742,293	△404,912	8,337,380
その他の収益（注4）	1,398,456	5,087	1,403,544	△70,124	1,333,419
外部顧客への売上高	9,342,704	328,096	9,670,800	—	9,670,800
セグメント間の内部売上高 又は振替高	456,382	18,654	475,036	△475,036	—
計	9,799,087	346,750	10,145,837	△475,036	9,670,800
セグメント利益 又は損失（△）	1,333,032	△1,061	1,331,970	△128,162	1,203,808

- （注） 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他附帯事業を含んでおります。  
 2 セグメント利益又は損失（△）の調整額△128,162千円は、セグメント間取引消去額△2,089千円、のれんの償却額△29,630千円、その他の調整額3,034千円、全社損益△99,476千円を含んでおります。全社損益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料及びグループ管理に係る費用であります。  
 3 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。  
 4 その他の収益は「金融商品に関する会計基準」に基づく利息収入及び「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸料収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント						
	不動産事業	マンション 管理事業	賃貸事業	家具・家電 レンタル事業	ソフトウェア 事業	ファイナンス 事業	建設事業
売上高							
一時点で移転される財	7,195,429	392,244	79,663	11,546	106,003	72,787	1,216,166
一定の期間にわたり移転 される財	2,700	1,134,504	75,582	—	61,451	2,499	26,589
顧客との契約から生じる 収益	7,198,129	1,526,749	155,246	11,546	167,455	75,286	1,242,756
その他の収益（注4）	29,635	—	818,115	526,885	—	183,913	31,576
外部顧客への売上高	7,052,107	1,327,600	895,024	536,853	160,594	254,671	1,233,592
セグメント間の内部売上高 又は振替高	175,657	199,148	78,337	1,578	6,860	4,528	40,740
計	7,227,764	1,526,749	973,361	538,431	167,455	259,199	1,274,333
セグメント利益 又は損失（△）	519,539	△5,636	354,218	18,019	43,580	91,971	107,482

（単位：千円）

	報告セグメント	その他（注1）	合計	調整額（注2）	四半期連結損益計算 書計上額（注3）
	計				
売上高					
一時点で移転される財	9,073,841	258,401	9,332,243	△334,031	8,998,211
一定の期間にわたり移転 される財	1,303,327	—	1,303,327	△104,194	1,199,133
顧客との契約から生じる 収益	10,377,169	258,401	10,635,570	△438,226	10,197,344
その他の収益（注4）	1,590,126	19,172	1,609,298	△79,675	1,529,623
外部顧客への売上高	11,460,444	266,523	11,726,968	—	11,726,968
セグメント間の内部売上高 又は振替高	506,851	11,050	517,901	△517,901	—
計	11,967,296	277,573	12,244,869	△517,901	11,726,968
セグメント利益 又は損失（△）	1,129,174	50,434	1,179,609	△173,836	1,005,772

- （注） 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他附帯事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失（△）の調整額△173,836千円は、セグメント間取引消去額△16,835千円、のれんの償却額△29,824千円、その他の調整額△1,540千円、全社損益△125,635千円を含んでおります。全社損益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料及びグループ管理に係る費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 4 その他の収益は「金融商品に関する会計基準」に基づく利息収入及び「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸料収入等であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結会計期間において、建設事業を営む株式会社ナカケンを連結子会社化したことに伴い、セグメント区分の見直しを行い、報告セグメントを従来の「不動産事業」、「マンション管理事業」、「賃貸事業」、「家具・家電レンタル事業」、「ソフトウェア事業」及び「ファイナンス事業」の6区分に「建設事業」を加えた7区分に変更しております。

新たな報告セグメントの内容は、以下のとおりであります。

(建設事業)

マンションデベロッパー向けにマンションギャラリーのデザイン及び施工、個人・法人等の一般顧客向けに空間デザイン・インテリアコーディネートや住宅のリノベーション他を内容とする建設業を展開しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

株式会社ナカケンの株式を取得し、みなし取得日を当第3四半期連結会計期間の期首として連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度末に比べ「建設事業」のセグメントにおいて、のれんが18,669千円増加しております。